dBTechnologies

D01322600A

DVA T8 / T12

3-Way アクティブ ラインアレイモジュール

取扱説明書

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出た、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落とした、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災/感電の原因となります。 販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) に修理をご依頼ください。 万一、煙が出ていたり、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 煙が出なくなるのを確認して、販売店まで修理をご依頼下さい。
指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災/感電の原因となります。 定期的(年 1 回くらい) に電源 プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災/感電の原因となります。 万一、電源 コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) に交換をご依頼ください。
	専用の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。 表示された電源電圧(交流 100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。 また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。 火災/感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して設置する 隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災/感電の原因となります。
禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災/感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを外す、または改造すると、火災/感電の原因となります。 内部の点検/修理は販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災/感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
指示	**設置の際は、資格や経験を持った人(専門業者)に必ず依頼する** **天井や壁掛け設置、床などに設置の際は、設置場所の強度を確保する** 使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。 天井/壁/柱/床などに設置する場合は、設置部分の強度が機器の総重量に十分対応可能か確認してください。

注意	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**
電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災/感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、専用の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない** 火災/感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災/感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。
注意	5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック 修理 センター(巻末に記載)にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

目次

安全にお使いいただくために.....2
目次.....4
商標および著作権に関して.....4
はじめに.....4
本製品の構成.....4
本書の表記.....4
ユーザー登録について.....5
別売りアクセサリー.....5
結露について.....5
製品のお手入れ.....5
設置上の注意.....5
アフターサービス.....5
本機の概要.....6
設置方法.....7
ラインアレイ構成による本機の設置.....7
三脚に取り付けて設置 (DVA T8のみ).....8
水平な床に設置 例1.....8
水平な床に設置 例2 (DVA T8のみ).....9
サブウーファー上に設置 例1 (DVA T8のみ).....9
サブウーファー上に設置 例2.....9
サイドサポート方式による設置 (DVA T8のみ).....9
天井設置 (FLOWN INSTALLATION).....10
フライバー DRK-10を使った構成.....10
フライバー DRK-20を使った構成.....11
壁掛け設置 (DVA T8のみ).....11
dBTechnologies Composerソフトウェアについて.....11
dBTechnologies Composerのダウンロード.....11
各部の名称.....12
コントロールパネル.....12
電源パネル.....12
電源および外部機器との接続.....13
電源と電源リンクの接続.....13
オーディオ信号の接続.....14
適合ケーブル.....14
RDNetの接続.....14
DSPプリセットの設定.....15
アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先.....16
F/Wアップデート
(USB Burner Manager ソフトウェア).....16
リモート機器の取扱説明書ダウンロード先.....16
dBTechnologies Networkについて.....16
dBTechnologies Networkのダウンロード先.....16
仕様.....17
一般.....17
寸法図.....18
ブロックダイアグラム.....19

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Neutrikは、Neutrik AGの登録商標です。また、powerCONおよびTRUE1は、Neutrik AGの商標です。
- DigiprolはAEB INDUSTRIALE SRLの商標です。
- dBTechnologiesはA.E.B Industriale SRLのそれぞれの国における商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、dBTechnologies DVA T8/T12をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。
また取扱説明書は、TASCAM のウェブサイト (https://tascam.jp/jp/) からダウンロードすることができます。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

DVA T8
- 本体 (DVA T8).....×1
- 取扱説明書(本書、保証書付き).....×1

DVA T12
- 本体 (DVA T12).....×1
- 取扱説明書(本書、保証書付き).....×1

※ 本製品には、電源コードが付属されておりません。
専用電源コードに関するお問い合わせは、タスカムカスタマーサポート(巻末に記載)までご連絡ください。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**POWER**」のように太字で表記します。
- 本機のディスプレーに表示される文字を **“MAIN”** のように **“_”** で使って表記します。

ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。 [https://tascam.jp/jp/login]

別売りアクセサリー

輸送や本体設置のために下記の別売りアクセサリーが、ご使用になれます。

DVA T8 アクセサリー

- 壁掛けブラケット DWB 3
  (DVA T8を最大3台まで吊り下げ可)
- ブラケット SRK-10 (サイドサポートキット)
- ポールマウント DS2 (スピーカーポール)
- ポールマウントアダプター DSA 4
- DPC 15 : Neutrik社製 powerCON LINKケーブル (50 cm)

DVA T12 アクセサリー

- AFL-05 : Neutrik社製 powerCON LINKケーブル (1.5 m)

DVA T8/T12 共通アクセサリー

- フライバー DRK-10/DRK-20 (吊り下げフレーム)
  (DRK-10 : 最大荷重250 Kg)
  (DRK-20 : 最大荷重1300 kg)
- トローリー DT 6 (台車)
  (DVA T8を最大6台まで積載可)
  (DVA T12を最大4台まで積載可)
- RDC-45F : RJ45-XLR (female) 変換ケーブル (6 cm)
- RDC-45F : RJ45-XLR (male) 変換ケーブル (6 cm)

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。
化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

設置上の注意

- 設置は、資格や経験を持った人(専門業者)が必ず行い、使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。
- 本機の動作保証温度は、摂氏-5度～50度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- 熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機の近くに大型 トランスを持つ機器がある場合にハム (うなり) を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出る、またはラジオからの雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発進時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付 (巻末に記載) されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店 / ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定によりティアック 修理 センター (巻末に記載) が無料修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) までご連絡ください。
- 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責については、ご容赦ください。
  - 型名、型番　(DVA Txx)*
  - 製造番号　(Serial No.)
  - 故障の症状　(できるだけ詳しく)
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

* ご使用中の[DVA T8/T12]いずれかの型名をお知らせください。

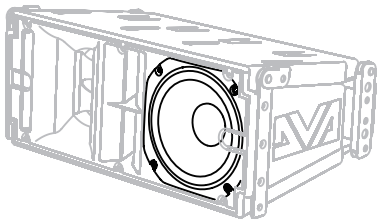
本機の概要

dBTechnologies DVA T8およびDVA T12は、3-Way アクティブ ラインアレイモジュールです。
クラスDのDigipro G2 アンプを3個搭載し、電圧自動切替機能を備えたスイッチング 電源により、冷却 ファンを排除し、静かな動作を実現しています。また、電源部にはPFC(Power Factor Correction) を搭載し、電圧が不安定な環境でもAC 100 V～240 Vの範囲内であれば常に一定のサウンドを効率よく出力します。

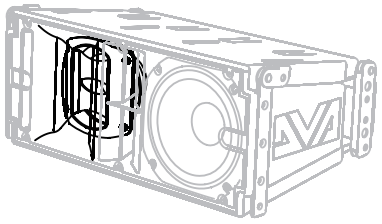
DVA T8 スピーカーユニット構成

アンプ部のRMS出力は、低域(LF)350 W、中域(MF)と高域(HF)はそれぞれ175 Wの出力が可能です。

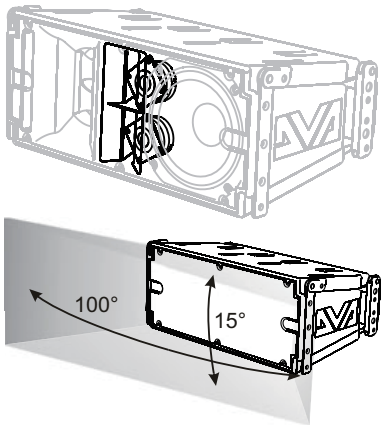
- 低域部には8インチ ウーファー (2.5インチ ボイスコイル)を採用し、SPL値(最大132 dB)と70 Hzまでの再生周波数に対応しています。



- 中域部にはPFC対応のホーンと専用チャンバーに組み込まれた6.5インチ ミッドレンジ(2インチ ボイスコイル)を採用し、3つの出力スロットを備えたプラグフェーズをコーン前面に配置することで、ローカルアレイを形成し、指向性を高めて垂直フェーズがオーバーラップするのを防ぎます。
  また、ホーン形状はDVA T12と組み合わせた場合に適切な効果が得られるようデザインされています。



- 高域部には、垂直方向のカバレッジが最適化するよう縦方向に配置された2個の1インチ ツイーター (1.4インチ ボイスコイル)を採用し、ホーン形状はDVA T12と組み合わせた場合に適切な効果が得られるようデザインされています。

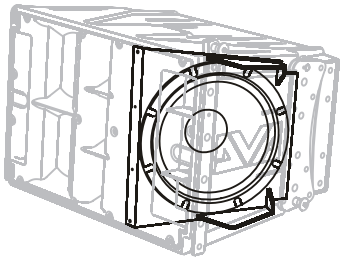


本機単体での基準カバレッジは、
水平方向 :100°、垂直方向 :15°になります。

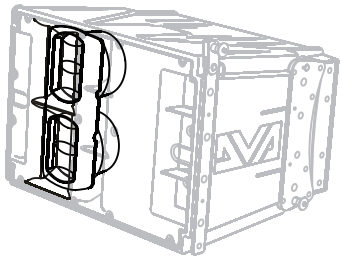
DVA T12 スピーカーユニット構成

アンプ部のRMS出力は、低域(LF)710 W、中域(MF)と高域(HF)はそれぞれ350 Wの出力が可能です。

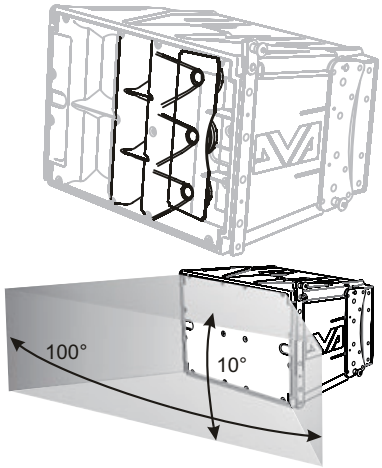
- 低域部には12インチ ウーファー (3インチ ボイスコイル)を採用し、SPL値(最大136 dB)と60 Hzまでの再生周波数に対応しています。



- 中域部にはPFC対応のホーンと専用チャンバーに組み込まれた2個の6.5インチ ミッドレンジ(2インチ ボイスコイル)を採用し、それぞれ3つの出力スロットを備えたプラグフェーズをコーン前面に配置することで、ローカルアレイを形成し、指向性を高めて垂直フェーズがオーバーラップするのを防ぎます。
  また、ホーン形状はDVA T8と組み合わせた場合に適切な効果が得られるようデザインされています。

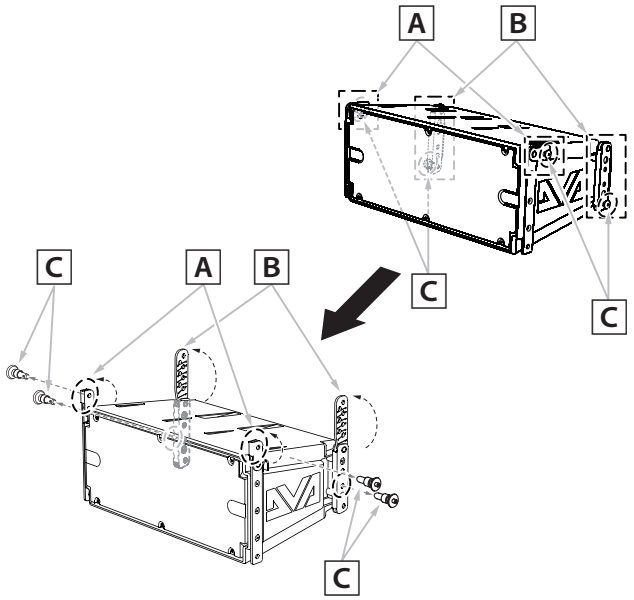


- 高域部には、垂直方向のカバレッジが最適化するよう縦方向に配置された3個の1インチ ツイーター (1.5インチ ボイスコイル)を採用し、ホーン形状はDVA T8と組み合わせた場合に適切な効果が得られるようデザインされています。



本機単体での基準カバレッジは、
水平方向 :100°、垂直方向 :10°になります。

● ラインアレイを簡単かつ確実に組立/解体できるよう、本体に取付穴と目盛りが用意されたビルトイン機構(フロント(下図 Ⓐ)およびリア(下図 Ⓑ)の左右に装備)とクイックリリース・ピン(下図 Ⓒ)を標準装備しています。

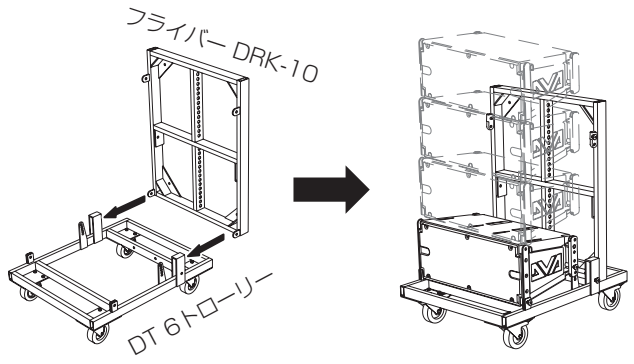


● 様々な使用状況に対応するDSP制御による9種類のイコライザーをプリセット済みです。(→ 12ページ「各部の名称」)

● 運搬が容易な搬送用台車(トローリー)も、別売りでご用意しています。

下図は、吊り下げフレーム(フライバー DRK-10)と台車(DT-6トローリー)を組み合わた運搬用の構成例です。

- DVA T8を最大6台まで積載可
- DVA T12を最大4台まで積載可



注意

指定の荷重や台数を超えての設置は、機器または人に損害を与える恐れがあります。

設置方法

最終的なラインアレイの特性や必要な角度が決まったら設置を始めてください。その際、すべてのオーディオ 入力の感度が0dB(通常使用の場合) であることをチェックしてください。

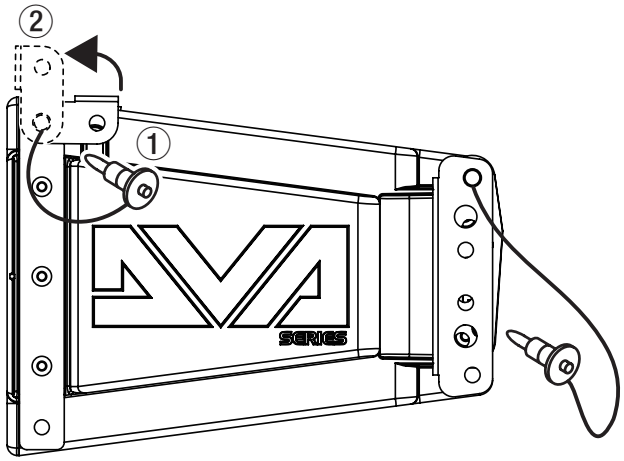
注意

ここで紹介する設置方法以外で、絶対に設置しないでください。指示を守らない場合、人がけがをしたり、機器が壊れたりする原因となります。

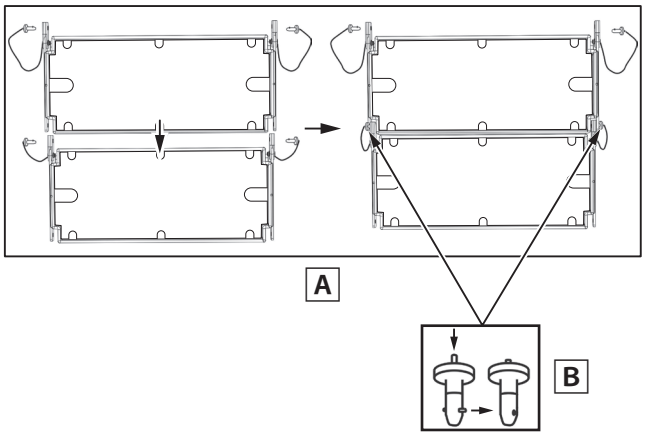
- 設置は、資格や経験を持った人(専門業者)が必ず行い、使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。
- 設置部分の強度が機器の総重量に十分対応可能か確認してください。(設置部分の強度が不足している場合、落下や転倒して、人や動物・機器に損害の原因になります。)
- 本体のハンドルや本体ブラケットを使って本機器を吊るさないでください。
- 別売りアクセサリーを安全にお使い頂くために、使用前など定期的にしっかりと固定・組み立てされているかチェックしてください。 (弊社は、不適切なアクセサリーの使用、または追加による損傷に対していかなる責任も負いません。)
- スピーカーは、必ず安定した場所に確実に設置してください。
- 安全上の理由により、適切な固定方法を用いることなくスピーカーを重ねて設置しないでください。
- スピーカーを吊り下げる場合は、すべての部品をチェックし、ダメージ・変形・歪み・欠落がないか確認し、設置中の安全に問題がないことを確認してください。

ラインアレイ構成による本機の設置

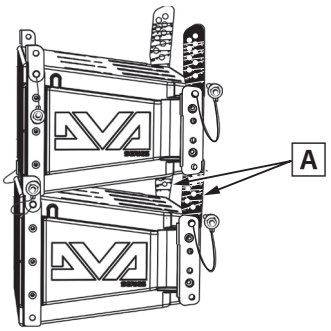
1. 下側になる機体のフロント側(左右)のブラケットのクイックリリース･ピン(①)を外し、ブラケット(②)を持ち上げてください。



2. 上側になる機体を重ね、下図 Aに示すようにフロント側(左右)のブラケットの位置に合わせてください。
クイックリリース・ピンでフロント側(左右)のブラケットを固定してください。
(クイックリリース・ピンの固定/解除方法は、図 Bを参照してください。)

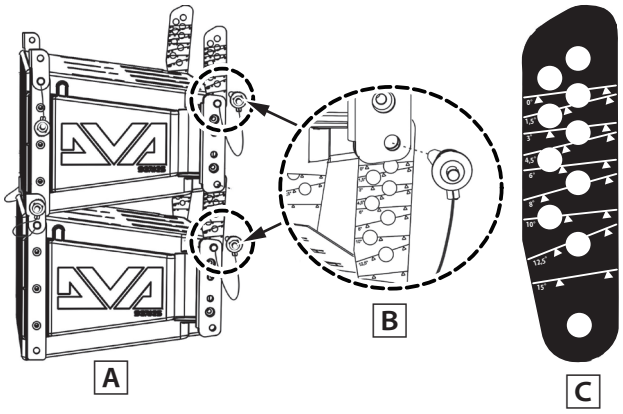


3. 上側の機体を少し持ち上げ、下図を参考に下側の機体のリア側(左右)のブラケット(図 A)を起こしてください。



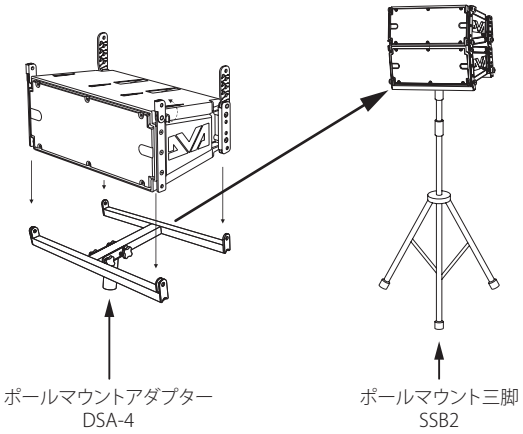
4. 希望する角度になるように、リア側(左右)のブラケット(図 A/C)の目盛りに従って位置決めし、クイックリリース・ピンで固定してください(図 B)。
2つのスピーカーの角度は、組み合わせたブラケット(図 C)のすぐ下のラインで確認できます。
角度調整は、下記の間隔で調整可能です。

- 角度0〜6°の範囲　：1.5°刻み (0°、1.5°、3°、6°)
- 角度6〜10°の範囲　：2°刻み (6°、8°、10°)
- 角度10〜15°の範囲：2.5°刻み (10°、12.5°、15°)



三脚に取り付けて設置 (DVA T8のみ)

本機を35 mm径の支柱を備えた別売りのポールマウントSSB2(三脚)とポールマウントアダプター DSA 4を組み合わせて、最大３台までの本機を設置可能です。



注意

安定した設置のために、スピーカー底部と床との高さは、130cm以下にしてください。

メモ

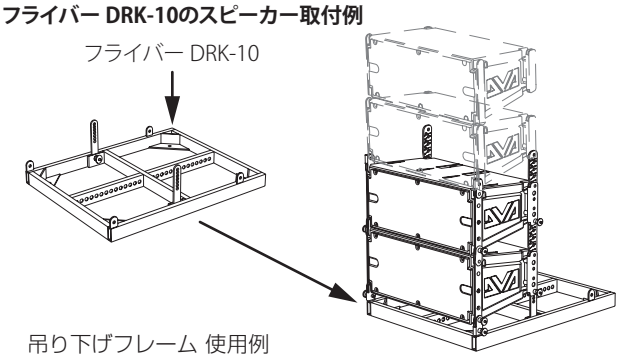
別売りのポールマウントアダプター DSA 4は、±5°の傾斜をつけて取り付けることが可能です。

詳細は、アクセサリーの取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。(→ 16ページ「アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先」)

水平な床に設置 例1

別売りの吊り下げフレーム(フライバー DRK-10およびDRK-20)を使って、最大４台の本機を設置できます。

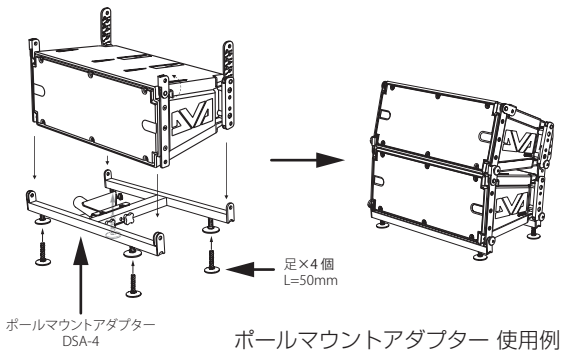
フライバー DRK-10のスピーカー取付例



詳細は、アクセサリーの取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。(→ 16ページ「アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先」)

水平な床に設置 例2 (DVA T8のみ)

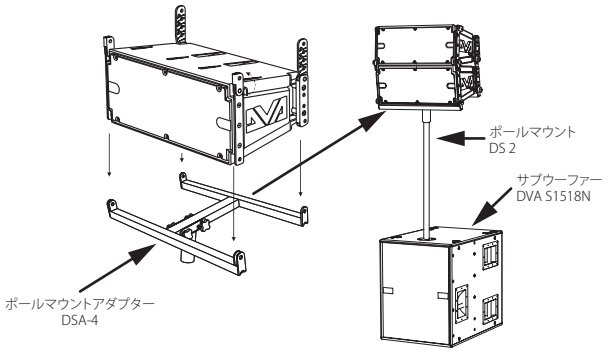
別売りのポールマウントアダプター DSA 4を使って、最大３台の本機を水平な床に設置することもできます。



詳細は、アクセサリーの取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。（→ 16ページ「アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先」）

サブウーファー上に設置 例 1 (DVA T8のみ)

サブウーファー DVA S1518N上に別売りの35mm径のポールマウント DS 2とポールマウントアダプター DSA 4を組み合わせて、最大３台までの本機を設置可能です。



注意

安定した設置のために、スピーカー底部と床との高さは、85cm以下にしてください。

メモ

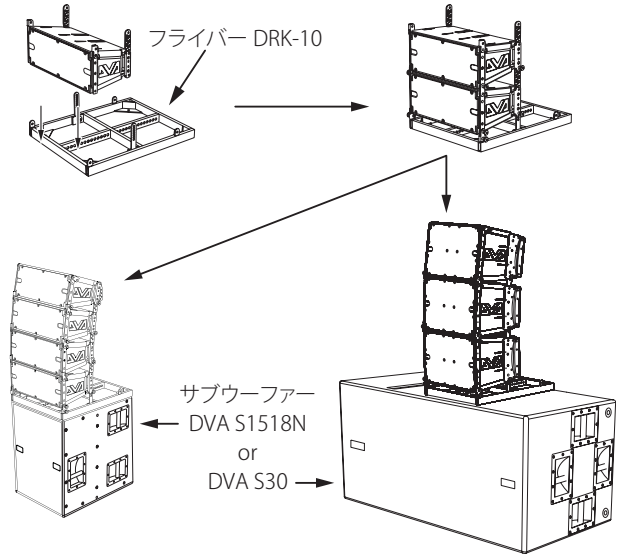
別売りのポールマウントアダプター DSA 4は、±5°の傾斜をつけて取り付けることが可能です。

詳細は、アクセサリーの取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。（→ 16ページ「アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先」）

サブウーファー上に設置 例2

別売りの吊り下げフレーム(フライバー DRK-10およびDRK-20) を使って、DTA T8を最大４台、またはDTA T12を最大３台までサブウーファー DVA S1518N(DTA T8)、またはDVA S30(DTA T12) の上に設置することができます。

フライバー DRK-10のスピーカー取付例



注意

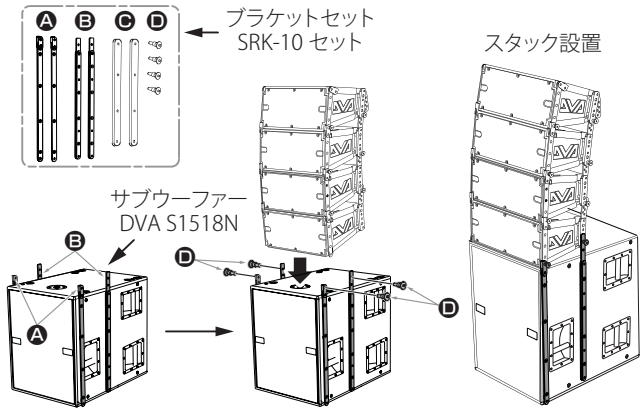
サブウーファーは、必ず水平な場所に設置し、サブウーファー上のスピーカーが転倒して人や動物、物にダメージを与えないようにしてください。

詳細は、アクセサリーの取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。（→ 16ページ「アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先」）

サイドサポート方式による設置 (DVA T8のみ)

別売りのブラケット SRK-10を使用して、サブウーファー DVA S1518N に直接、DTA T8を最大４台まで積み重ねたスタック設置が可能です。

ブラケット SRK-10のスピーカー取付例



詳細は、アクセサリーの取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。（→ 16ページ「アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先」）

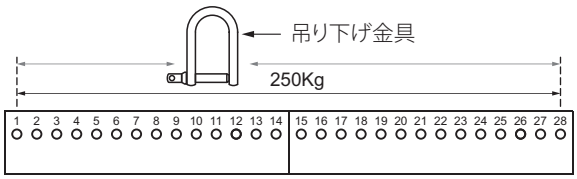
天井設置 (FLOWN INSTALLATION)

別売りの吊り下げフレーム(フライバー DRK-10およびDRK-20)を使って、天井設置することができます。
通常の設置や安全な耐荷重は、dBTechnologies Composerソフトウェアで確認することができます。

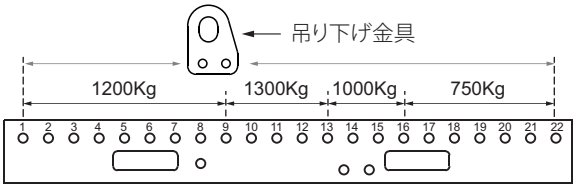
注意

- それぞれの吊り下げフレームの最大耐荷重は、吊り下げ金具の取付け位置で、異なりますので下図の表を参照してください。
- 指定の荷重や台数を超えての設置は、機器または人に損害を与える恐れがあります。

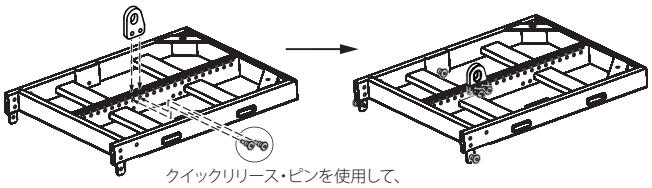
フライバー DRK-10/20の吊り下げ金具取付例



フライバー DRK-10のセンターラダー



フライバー DRK-20のセンターラダー



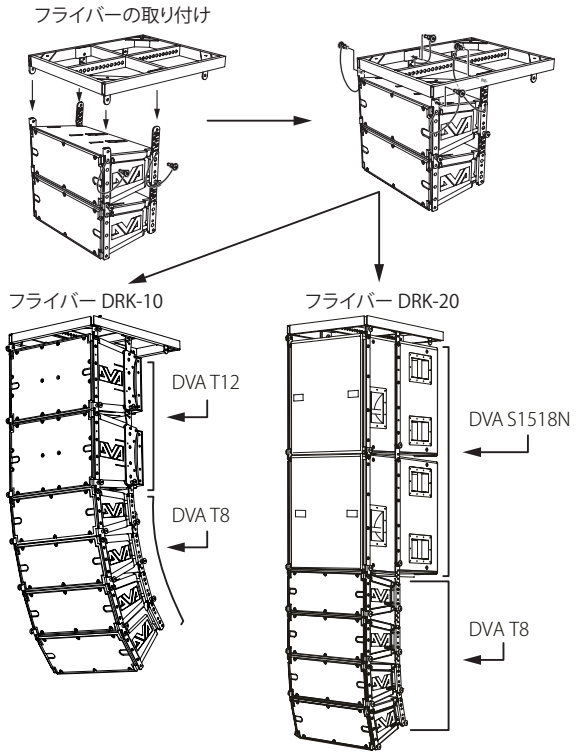
クイックリリース・ピンを使用して、
吊り下げ金具を固定してください。

吊り下げ金具穴位置	耐荷重（最大）	
	DRK-10	DRK-20
1-9	250 kg	1200 kg
9-13	↑	1300 kg
13-16	↑	1000 kg
16-22	↑	750 kg
16-28	↑	- - - kg

詳細は、アクセサリーの取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。（→ 16ページ「アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先」）

フライバー DRK-10/20のスピーカー取付例

本機にサブウーファー DVA S1518Nを吊り下げたフロー設置が可能です。



注意

- フロー設置の場合、接続金具や傾斜角度によって、耐荷重は異なります。
- 指定の荷重や台数を超えての設置は、機器または人に損害を与える恐れがあります。

フライバー DRK-10を使った構成

フライバー DRK-10は、DVA T8を最大16台まで、DVA T12を最大8台まで取り付け可能です。
下の表を参考に複数の本機をフライバーに取り付ける際の合計重量を計算してください。

DVA T8の台数	質量
1	15 kg
10	150 kg
16	240 kg

DVA T12の台数	質量
1	30 kg
5	150 kg
8	240 kg

フライバー DRK-10で混合構成の場合

モジュラー構成が可能なDVAシリーズは、DVAシリーズの異なるスピーカーを組み合わせて吊り下げ構成にすることが可能です。その場合、組み合わせた合計重量を計算してください。

例) DTA T8 + サブウーファー DVA S1518N

機種	台数	小計	合計
DVA T8	12台	180 kg	226 kg
DVA S1518N	1台	46 kg	

注意

指定の荷重や台数を超えての設置は、機器または人に損害を与える恐れがあります。

フライバー DRK-20を使った構成

注意

フライバー DRK-20に適用可能な最大耐荷重は、吊り下げ金具の取付け位置で異なります。

詳細は、10ページ「フライバー DRK-10/20の吊り下げ金具取付例」を参照してください。

フライバー DRK-20で混合構成の場合

モジュラー構成が可能なDVAシリーズは、DVAシリーズの異なるスピーカーを組み合わせて吊り下げ構成にすることが可能です。その場合、組み合わせた合計重量を計算してください。

例) DVA T8 + DVA T12 + サブウーファー DVA S1518N

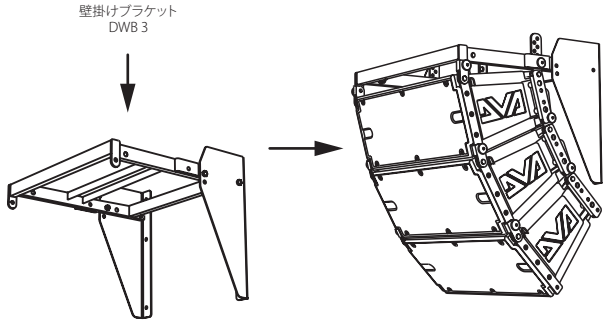
機種	台数	小計	合計
DVA T8	10台	150 kg	484 kg
DVA T12	5台	150 kg	
DVA S1518N	4台	184 kg	

注意

- フロー設置の場合、接続金具や傾斜角度によって、耐荷重は異なります。
- 指定の荷重や台数を超えての設置は、機器または人に損害を与える恐れがあります。

壁掛け設置 (DVA T8のみ)

別売りのブラケット DWB 3を使用して、DTA T8を最大3台まで壁掛け設置が可能です。なお、壁掛け設置に必要なアンカーネジなどは含まれていません。



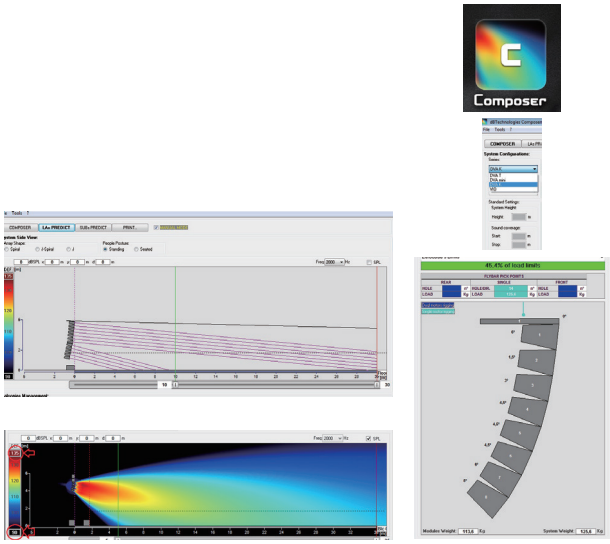
注意

- 接続金具や傾斜角度によって、耐荷重は異なります。
- 指定の荷重や台数を超えての設置は、機器または人に損害を与える恐れがあります。

詳細は、アクセサリーの取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。(→ 16ページ「アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先」)

dBTechnologies Composerソフトウェアについて

DVA Tシリーズをお使いになる場合に、無料の**dBTechnologies Composer**ソフトウェアを併用されることをお勧めします。
このソフトウェアを使用すると、狙ったカバレッジを実現するためのラインアレイ構成のモジュール角度の解析や、選択したエリアに合わせたラインアレイ構成のシステム設定が行えます。また、吊り下げフレーム(フライバー)の静的動作をシミュレートすることで効率的に、ラインアレイ・モジュール設置の安全性を確認できます。



(**dBTechnologies Composer**ソフトウェア イメージ図)

dBTechnologies Composerのダウンロード

dBTechnologies社の下記 ウェブサイトより、ソフトウェアをダウンロードできます。

● ダウンロードページ

http://www.dbtechnologies.com/es/downloads.aspx

ダウンロードページから"Software & Controllerr" の項目を開いて、上段の"Software" の列から対象となる名前の圧縮 ファイル(zip 形式) をダウンロードしてください。

● セットアップファイル

"dBTechnologies_Composer_setup_x.x.x.zip"

"Software & Controllerr" の項目を開いて、上段の"Manuals" の列から対象となる名前のPDFファイルをダウンロードしてください。

● ソフトウェア取扱説明書

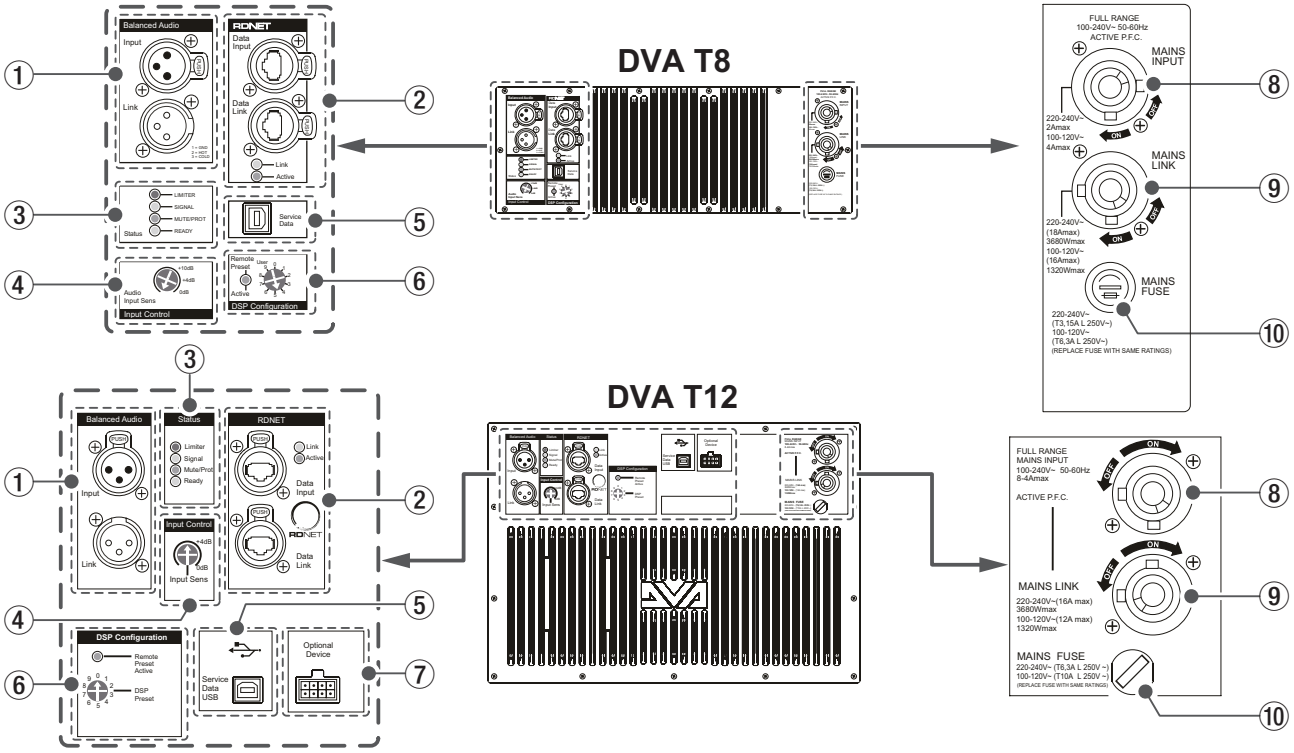
"Manual-dBTComposer_REVx-x.pdf"

セットアップファイルを解凍後、ソフトウェア 取扱説明書の手順に従って操作してください。

各部の名称

コントロールパネル

電源パネル



① Balanced Audio

- **Input**

XLR端子によるアナログバランス入力端子で、ラインレベルのバランス信号入力が可能です。

- **Link** (Output)

XLR端子によるアナログバランス 出力端子で、他のアンプ 内蔵 スピーカーにバランス 信号を送出します。

注意

電源を入れる前には、音源側の機器の音量を最小にして下さい。

② RDNET

データネットワーク接続(Ethernet RJ45 端子)の入出力です。ネットワーク接続で入力感度調整やDSP制御を行うことが可能です。(スピーカー単体での設定は、使用されません。)

- **Data input**

別売りのネットワークコントローラー RDNet Control 2またはControl 8に接続します。

- **Data Link**

ラインアレイ構成で他のスピーカーにデイジーチェーン接続して使用します。

- **Link LED** (緑色)

RDNetネットワークがデバイスを認識した場合に点灯します。

- **Active LED** (黄色)

RDNetネットワーク上でデータの通信を行っている際、点滅します。

RDNetネットワークの使用方法の詳細は、16 ページの「リモート機器の取扱説明書ダウンロード先」を参照してください。

③ Status

- **Limiter LED** (赤色)

入力信号の歪み音や他の不具合で内部リミッターが作動した場合に点灯します。

これは、アンプ回路が信号の歪みを防ぎ、ユニットが過負荷になるのを防ぎます。

注意

Limiter LEDが連続して点灯した状態は、入力信号の歪み音を伴う、過度の負荷をかかっている状態を示しています。そのままの状態で、長時間連続使用しないでください。その場合、機器が壊れたりする原因となります。

- **Signal LED** (緑色)

-20 dBu以上のオーディオ信号が入力されている時に点灯します。

その他の不具合で停止した場合は、消灯します。

- **Mute/Prot LED** (黄色)

電源投入時に数秒間(約5秒間)点灯し、正常な状態で動作している時は、消灯しています。

アンプ内部の温度をモニターし、オーバーヒートの保護回路が作動した場合、Mute/Prot LED(黄色)が点滅することで知らせます。適正な内部温度になってから、音量と全ての機能は元通りに復帰し、消灯します。

その他の不具合で停止した場合は、点灯します。

- **Ready LED** (緑色)

正常に状態で動作している時に点灯します。

その他の不具合で停止した場合は、消灯します。

④ **Input Control (Audio Input Sens)**

入力感度調整ボリューム
アンプ部に入力する信号の感度を調整します。
電源を投入する前は必ず、0 dBに設定してください。

⑤ **Service Data**

サービスデータ端子 (Mini USB Bタイプ)
本機のF/Wをアップデートする際、使用します。
ダウンロード方法は、16 ページの「F/Wアップデート (USB Burner Manager ソフトウェア)」を参照してください。

⑥ **DSP Configuration**

DSPコントロールセレクター
10ポジションのセレクタースイッチで、9種類のプリセットEQ(0～8) と、RDNet用に設定された9番 ポジション(User)を切り替えます。

- **Remote Preset Active LED** (黄色)
  本機がRDNet ネットワーク上で、制御(リモートコントロール) されている場合に点灯します。

DSPプリセットの設定方法の詳細は、15 ページの「DSPプリセットの設定」を参照してください。

⑦ **Optional Device**

DVA T12用オプション端子 (8ピン)
将来のオプション機器の接続用で使用する8ピン端子です。

⑧ **MAINS INPUT**

AC電源 端子 (Neutrik社製 powerCON端子 ブルー)
専用のNeutrik社製 powerCON 電源コードを接続します。

注意

- ケーブルの接続や取り外しは、必ず電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

⑨ **MAINS LINK**

電源リンク端子 (Neutrik社製 powerCON端子 グレー)
他のアクティブスピーカーなどに電源を供給する端子で、MAINS INPUT (⑧)端子とは、並列接続になっています。
ご使用時は、別売りの専用Neutrik 社製 powerCON LINKケーブルをお使いください。

注意

- 上記以外の方法で、他のアクティブスピーカーなどに電源供給を絶対に行わないでください。その場合、感電および機器を破損する恐れがあります。
- Neutrik 社製のケーブルについては、タスカム カスタマーサポート(巻末に記載)にご相談ください。
- MAINS LINK(電源Link 端子)の最大供給電流は、下記の表に記述してある許容範囲まで、スピーカーを接続することができます。

MAINS LINK端子の最大供給電流 (AC100-120 V時)	
DVA T8	DVA T12
max 16 A/1320 W	max 12 A/1320 W

⑩ **MAINS FUSE**

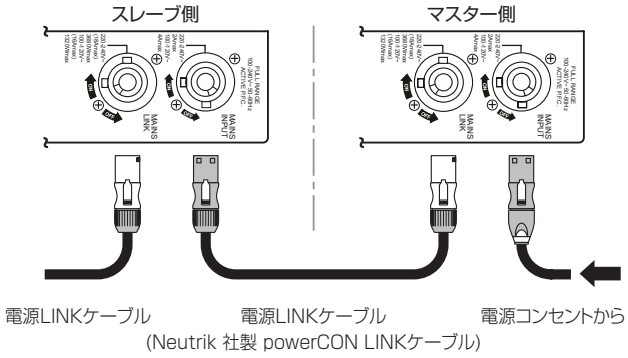
フューズホルダー
万一、動作しなくなった場合は、電源コードを抜いてティアック修理センター (巻末に記載)にご相談ください。

電源および外部機器との接続

本機は、複数の同一機種をデイジーチェーン接続でき、電源とオーディオ信号を1台目のスピーカー (マスター側)から2台目以降のスピーカー (スレーブ側)に供給することができます。

電源と電源リンクの接続

DVA T8の電源接続例



電源の接続

専用のNeutrik社製 powerCON 電源コードをMAINS INPUT (AC電源 端子)に接続し、時計回りに端子を回転させてロックしてください。ロックされると電源が入ります。また、電源を落とす場合は、逆の手順で取り外してください。

注意

電源コードは、専用のNeutrik社製 powerCON 電源コードをご使用ください。それ以外のケーブルを使用すると感電およびスピーカーの動作に影響する場合があります。

電源リンクの接続

Neutrik 社製 powerCON LINK 端子は、マスター側からスレーブ側に専用電源LINKケーブルを使って、複数の同一機種に電源供給することができます。

この接続を行うには、まずNeutrik社製powerCON 電源コードを使って、マスター側コンセントに接続した後、Neutrik社製 powerCON LINKケーブルを使って、マスター側のMAINS LINK(電源Link 端子)とスレーブ側のMAINS INPUT(AC電源端子)に接続します。

この接続を繰り返して、マスター側のMAINS LINK(電源Link端子)の下側に記載された最大供給電流に達するまでスピーカーを接続することが可能です。

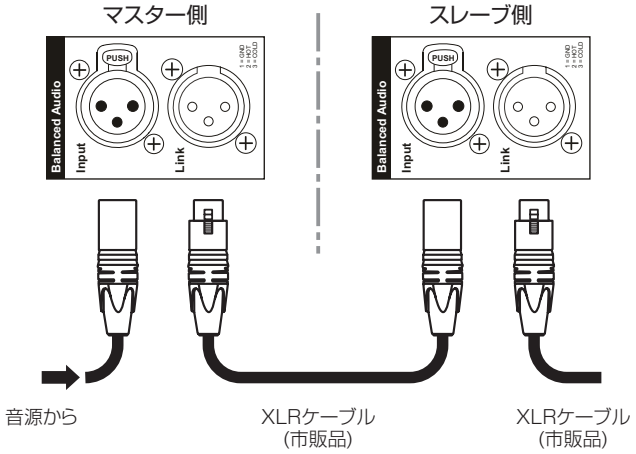
注意

- 濡れた手または、機器や電源コードが濡れた状態で、絶対に電源コードの接続や取り外しをしないでください。感電および機器を破損する恐れがあります。
- ケーブルの接続や取り外しは、必ず電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

オーディオ信号の接続

2台以上のスピーカーを同一音源に接続する場合、マスター側からスレーブ側に送出することができます。
この接続を行うには、まず音源機器からマスター側のバランス入力(Input 端子)に接続した後、バランスXLRケーブル(市販品)を使ってマスター側のバランス出力(Output/Link 端子)とスレーブ側のバランス入力(Input 端子)に接続します。
この接続を繰り返すことで、以降のスピーカーを接続することができ、スピーカー配置に沿った接続が可能です。

DVA T8のオーディオ接続例



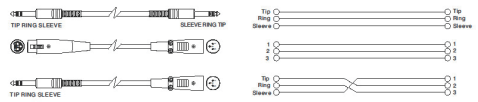
注意

- 電源を入れる前には、音源側の機器の音量を最小にして下さい。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

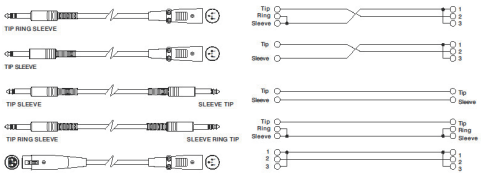
適合ケーブル

本機に適合するオーディオケーブルには、以下のタイプがあります。

バランスケーブル



アンバランスケーブル



注意

ケーブルの接続/取り外しは必ず、電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。

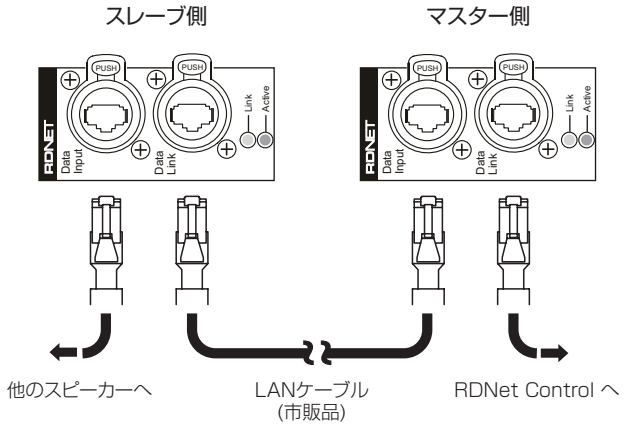
RDNetの接続

本機をリモート 操作をする場合は、別売りのネットワークコントローラー (RDNet Control 2やRDNet Control 8) を使用して、制御したいスピーカーのData Input端子(Ethernet RJ45端子)にコントローラーからのLANケーブル(市販品) を接続します。
1つのラインアレイ 構成全体を制御する場合、マスター側のData Link端子からスレーブ 側のData Input端子にLANケーブル(市販品) で接続します。
この接続を繰り返すことで、接続されたスピーカーを制御することができます。
同様に複数のラインアレイ 構成がある場合、制御できるスピーカーの最大数は下記なります。

- RDNet Control 2 : 1ch/32台×2ch 最大64台
- RDNet Control 8 : 1ch/32台×8ch 最大256台

RDNetネットワーク上に接続した機器が認識された場合、Link LED (緑色)が点灯しします。

DVA T8のRDNet接続例



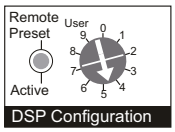
注意

本機をネットワーク 接続で制御をする場合、入力感度調整/DSP等の設定は、ネットワークでの設定が優先されます。(スピーカー単体での設定は、使用されません。)。

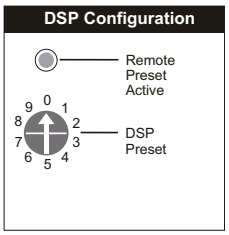
DSPプリセットの設定

ラインアレイ構成は、様々な使用状況において多数の利点をもたらします。
DSP制御によるコントロールで、本機を最適な状態にします。
下図のDSPプリセット部に9種類のプリセットEQ(0〜8)と、RDNet用に設定された9番ポジション(User)が選択可能です。

DVA T8



DVA T12



DVA T8の場合

[フライバー DRK-10の角度 : 0°]

周波数特性				DSP プリセット値
フラット	全帯域においてフラットな状態にする場合			0
HFブースト	高域を強調する場合			1
モジュール数		形状	角度	DSP プリセット値
4〜6台	*	ストレート	0°〜4.5°	2
		カーブ	6°〜15°	3
7〜10台	*	ストレート	0°〜4.5°	4
		カーブ	6°〜15°	5
11台以上	*	ストレート	0°〜3°	6
		緩いカーブ	4.5°〜6°	7
		カーブ	8°〜15°	8
User				DSP プリセット値
RDNet用				9

DVA T12の場合

[フライバー DRK--20の角度 : 0°]

周波数特性				DSP プリセット値
フラット	全帯域においてフラットな状態にする場合			0
HFブースト	高域を強調する場合			1
モジュール数		形状	角度	DSP プリセット値
4〜5台		ストレート	0°〜1.5°	2
		カーブ	3°〜10°	3
6〜8台		ストレート	0°〜1.5°	4
		カーブ	3°〜10°	5
9〜12台		ストレート	0°〜1.5°	6
		緩いカーブ	3°〜6°	7
		カーブ	8°〜10°	8
User				DSP プリセット値
RDNet用				9

アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先

各アクセサリーの取扱説明書については、dBTechnologies社のウェブサイトのダウンロードページから、"Installation"の項目を開いて、上段の"Manuals"の列から対象となるアクセサリーのPDFファイルをダウンロードしてください。

- ダウンロードページ
  http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx

F/Wアップデート (USB Burner Manager ソフトウェア)

本機の全ての機能を確実に使うためには、F/W を常に最新のものにしておくことをお勧めします。
定期的にdBTechnologies のウェブサイトのダウンロードページをチェックしてください。F/W の更新が合った場合は、以下の手順でアップデートすることができます。

- ダウンロードページ
  http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx

1. 上記のDownloadページから"Software & Controllerr"を開いて、[USB BURNER MANAGER]ソフトウェアをダウンロードし、表示される手順に従ってインストールしてください。
2. 上記のDownloadページから"DVA"を開いて、上段の"Firmware"の列と対象となる"DVA"機種の行から、最新のF/W (zip 形式)をダウンロードしてください。
   ダウンロード後、解凍してください。
3. 本機とパソコンをUSBケーブル(別売り社外品)で接続してください。
   本機の通信用USB端子は、12 ページの「各部の名称」を参照してください。
4. [USB BURNER MANAGER]ソフトウェアを起動し、画面右上から、"File Opening…"を選択してください。
5. 先程ダウンロードしたF/Wを選択してください。
   (お使いのシステムに最適かチェックします。)
6. UPDATEをクリックし、アップデート作業をスタートしてください。

注意

F/Wアップデート後の電源投入で、保存した各種設定が失われる場合があります。

リモート機器の取扱説明書ダウンロード先

リモート機器の取扱説明書については、dBTechnologies社のウェブサイトのダウンロードページから、"Software & Controllerr"の項目を開いて、上段の"Manuals"の列から対象となる名前のPDFファイルをダウンロードしてください。

- 取扱説明書
  - RDNet Control 2
    "RDNet CONTROL 2_cod420120189_Revx.x-MAN.pdf"
  - RDNet Control 8
    "RDNET CONTROL8_cod420120183_Revx.pdf"
- ダウンロードページ
  http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx

dBTechnologies Networkについて

このdBTechnologies Networkはリモート操作する際に必要なソフトウェアです。
色々な構成時における本機をコントロールできます。
様々な状況におけるリアルタイム・モニターや、完全なリモート操作が可能で、例えばラインアレイ構成された本機と3台のサブウーファーの設定や、全システムを稼動中に異なるパラメーターに変更するなどの操作が可能になります。
さらに、本機の詳細な設定や本体の操作部では、行えない項目までコントロール可能です。
dBTechnologies Networkを使うことで、以下のモニター機能やパラメーターを設定することができます。

- 出力パワーモニター
- 内蔵アンプの温度モニター
- リミッター作動状況モニター
- プリセット・イコライザーの選択
- 音量レベルの設定

dBTechnologies Networkのダウンロード先

dBTechnologies社のウェブサイトのダウンロードページから、"Software & Controllerr"の項目を開いて、上段の"Software"の列から対象となる名前の圧縮ファイル(zip形式)をダウンロードしてください。

- セットアップファイル
  "db-Technologies-Network_x_x.zip"

"Software & Controllerr"の項目を開いて、上段の"Manuals"の列から対象となる名前のPDFファイルをダウンロードしてください。

- ソフトウェア取扱説明書
  "dBTechnologies-Network_Section_A_REV.x.x.pdf"
  "dBTechnologies-Network_Section_B_REV.x.x.pdf"
  "dBTechnologies-Network_Section_C_REV.x.x.pdf"

セットアップファイルを解凍後、ソフトウェア取扱説明書の手順に従って操作してください。

- ダウンロードページ
  http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx

仕様

		DVA T8	DVA T12
形式			
スピーカータイプ		3ウェイ アクティブ ライン アレイ スピーカー	3ウェイ アクティブ ライン アレイ スピーカー
使用ユニット	HF	1インチ (1.4インチ ボイスコイル)×2	1インチ (1.5インチ ボイスコイル)×3
	MF	6.5インチ (2インチ ボイスコイル)×1	6.5インチ (2インチ ボイスコイル)×1
	LF	8インチ (2.5インチ ボイスコイル)×1	12インチ (3インチ ボイスコイル)×1
アンプ部			
形式		Digipro G2クラスD	Digipro G2クラスD
ピーク出力		1400 W	2820 W
	HF	175 W/RMS	350 W/RMS
	MF	175 W/RMS	350 W/RMS
	LF	350 W/RMS	710 W/RMS
RMS出力		700 W	1410 W
冷却システム		自然対流式	自然対流式
DSP部			
コントローラー		DSP 56 bit (倍精度フィルタ付き)	DSP 28/56 bit (倍精度フィルタ付き)
AD/DA処理		24 bit/96 kHz	24 bit/96 kHz
リミッター		ピーク、サーマル	ピーク、サーマル
プリセット		初期設定値 ×8(EQ)、User×1(RDnet)	初期設定値 ×8(EQ)、User×1(RDnet)
入力感度設定		入力感度調整ボリューム ×1	入力感度調整ボリューム ×1
周波数特性		–6 dB 66 Hz - 18 kHz –10 dB 61Hz - 19.9 kHz	±3 dB 60Hz - 19 kHz
クロスオーバー周波数	LF - MF	400 Hz (24 dB/oct)	420 Hz (24 dB/oct)
	MF - HF	1900 Hz (24 dB/oct)	1900 Hz (24 dB/oct)
最大SPL		132 dB (max)	136 dB (max)
入力感度		最大0 dBu	最大0 dBu
外部入力	XLR端子	XLR端子×1 (バランス)	XLR端子×1 (バランス)
	LAN端子	Ethernet RJ45タイプ ×1	Ethernet RJ45タイプ ×1
	USB端子	mini-Bタイプ×1	mini-Bタイプ×1
外部出力	XLR端子	XLR端子×1 (バランス)	XLR端子×1 (バランス)
	LAN端子	Ethernet RJ45タイプ ×1	Ethernet RJ45タイプ ×1
オプション端子		(なし)	オプション端子 (8ピン) ×1

一般

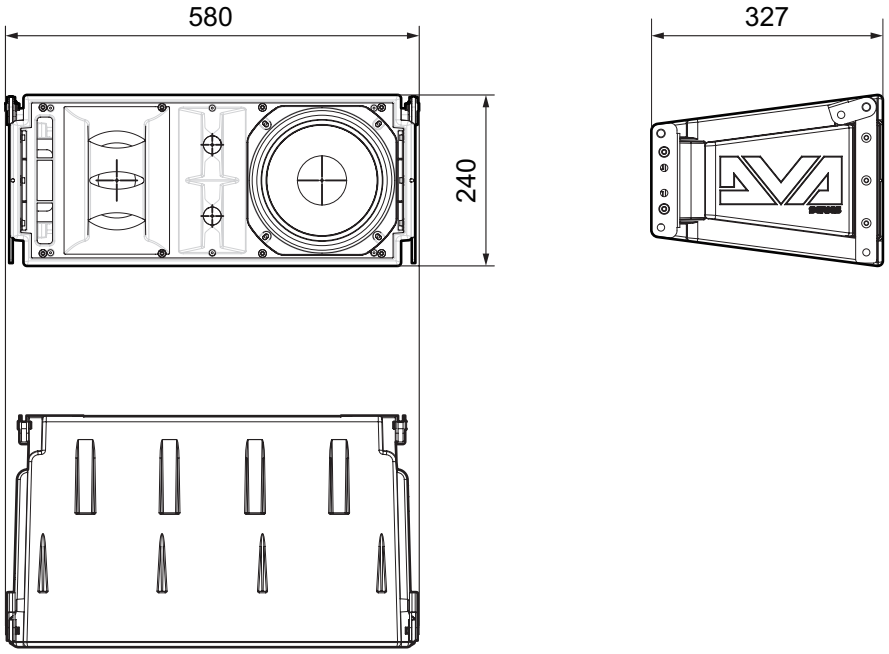
		DVA T8	DVA T12
電源	電圧	AC 100～240V(自動切替式)、50/60 Hz	AC 100～240V(自動切替式)、50/60 Hz
	電源端子	Neutrik社製 powerCON端子 ×1	Neutrik社製 powerCON端子 ×1
	電源Link端子	Neutrik社製 powerCON端子 ×1	Neutrik社製 powerCON端子 ×1
	最大供給電流	max 16 A/1320 W	max 12 A/1320 W
消費電力	AC 100-120V時	4 A	8 A
質量		14.2 kg	29.9 kg
外形寸法	幅 x 高さ x 奥行き (突起部を含まず)	580 × 240 × 327 mm	580 × 386 × 430 mm
動作温度		-5 ～ +50 ℃	

注意

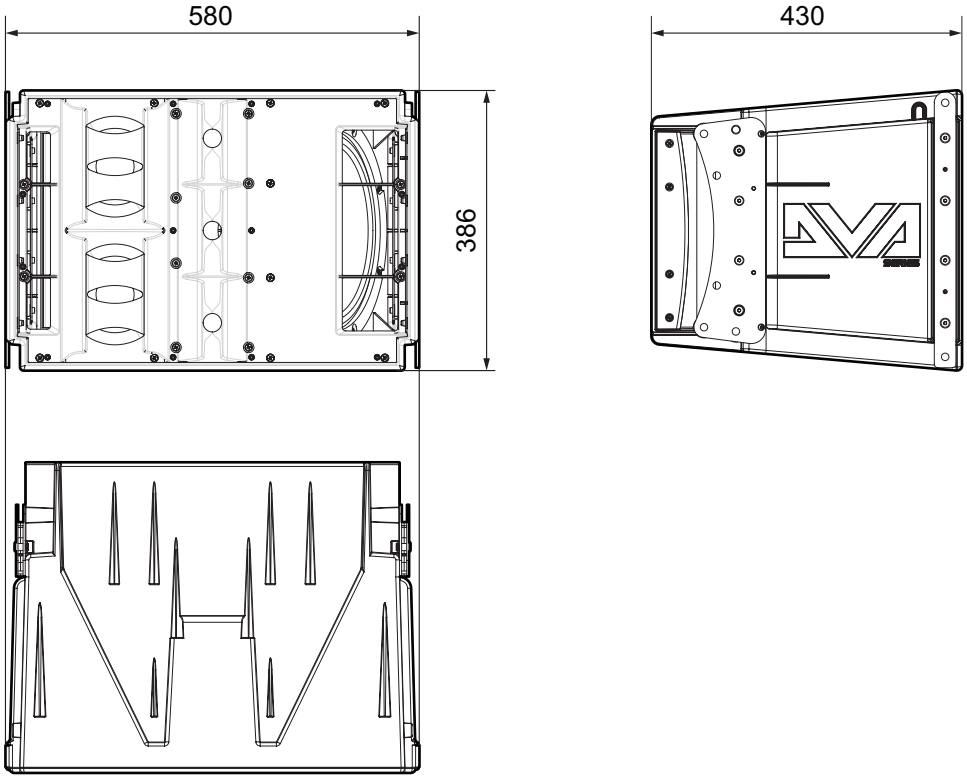
日本国内においては、AC100Vのみ動作保証となります。(それ以外の電圧で、使用しないでください。)

寸法図

DVA T8

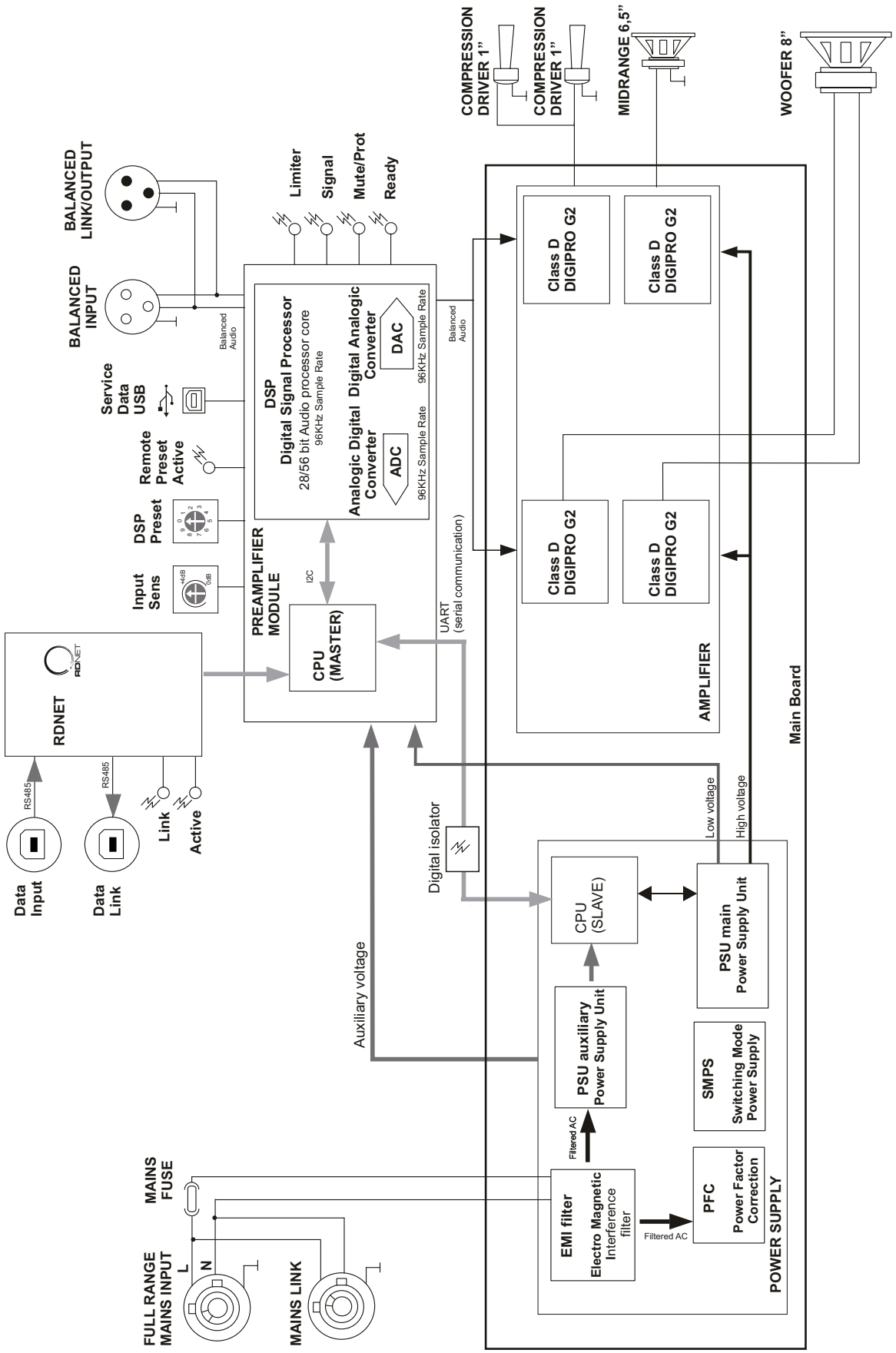


DVA T12

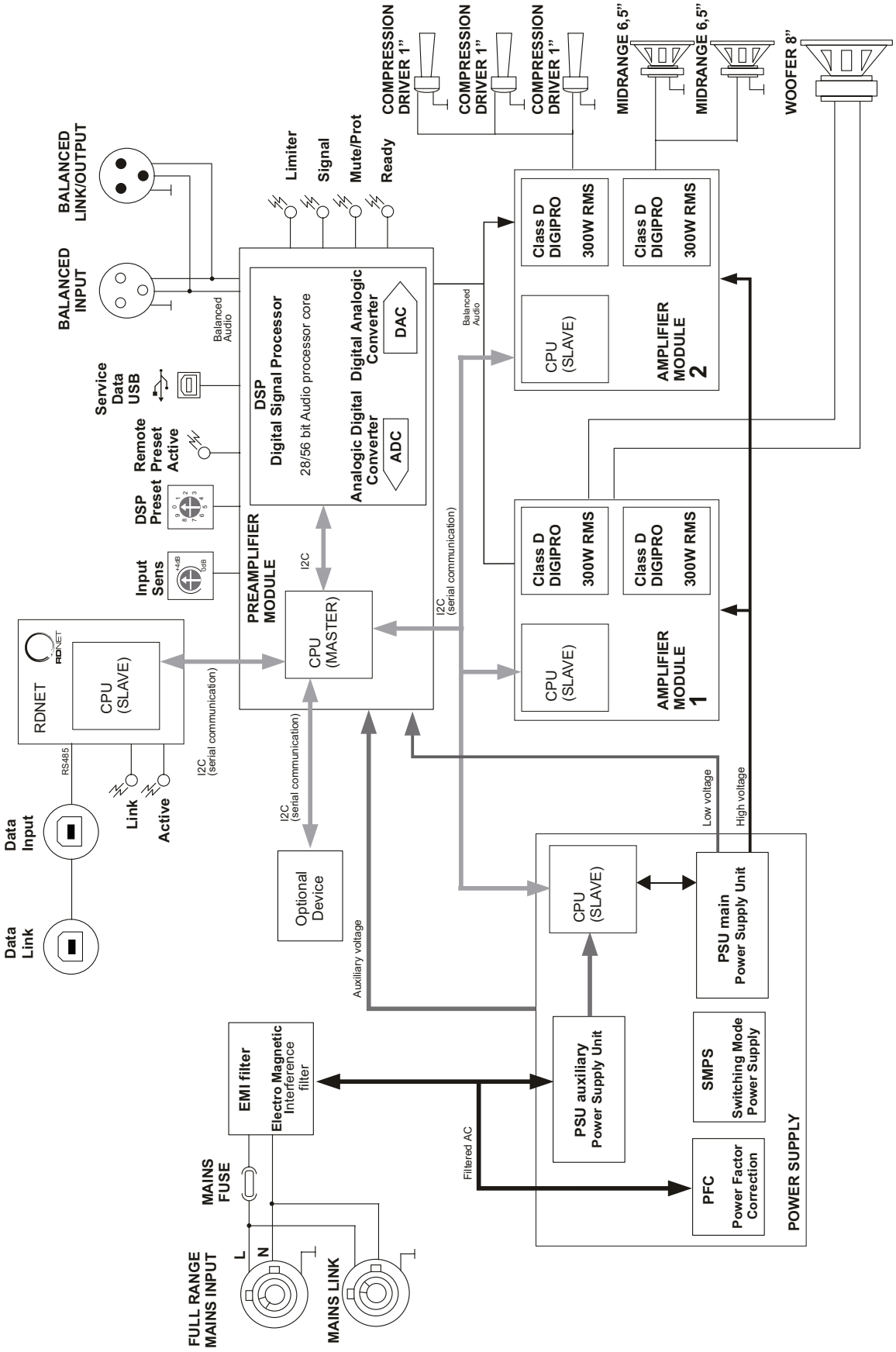


- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

DVA T8


COMPRESSION DRIVER 1"
COMPRESSION DRIVER 1"
MIDRANGE 6,5"
WOOFER 8"
BALANCED LINK/OUTPUT
BALANCED INPUT
Balanced Audio
Limiter
Signal
Mute/Prot
Ready
Service Data USB
Remote Preset Active
DSP Preset
Input Sens
DSP
Digital Signal Processor
28/56 bit Audio processor core
96KHz Sample Rate
Analogic Digital Converter
ADC
96KHz Sample Rate
Digital Analogic Converter
DAC
96KHz Sample Rate
PREAMPLIFIER MODULE
I2C
CPU (MASTER)
UART (serial communication)
Balanced Audio
Class D DIGIPRO G2
Class D DIGIPRO G2
Class D DIGIPRO G2
Class D DIGIPRO G2
AMPLIFIER
Main Board
RDNET
RS485
RS485
Data Input
Data Link
Link
Active
Digital isolator
Auxiliary voltage
Low voltage
High voltage
CPU (SLAVE)
PSU main Power Supply Unit
PSU auxiliary Power Supply Unit
SMPS Switching Mode Power Supply
Filtered AC
EMI filter Electro Magnetic Interference filter
Filtered AC
PFC Power Factor Correction
POWER SUPPLY
MAINS FUSE
FULL RANGE MAINS INPUT
L
N
MAINS LINK

DVA T12


BALANCED LINK/OUTPUT
BALANCED INPUT
Balanced Audio
Service Data USB
Remote Preset Active
DSP Preset
Input Sens
14dB
0dB
PREAMPLIFIER MODULE
DSP
Digital Signal Processor
28/56 bit Audio processor core
Analogic Digital Converter
ADC
Digital Analogic Converter
DAC
Limiter
Signal
Mute/Prot
Ready
I2C
CPU (MASTER)
I2C (serial communication)
RDNET
CPU (SLAVE)
RS485
Data Input
Data Link
Link
Active
Optional Device
Auxiliary voltage
COMPRESSION DRIVER 1"
COMPRESSION DRIVER 1"
COMPRESSION DRIVER 1"
MIDRANGE 6,5"
MIDRANGE 6,5"
WOOFER 8"
Class D DIGIPRO
300W RMS
AMPLIFIER MODULE 2
AMPLIFIER MODULE 1
Low voltage
High voltage
PSU main Power Supply Unit
PSU auxiliary Power Supply Unit
SMPS Switching Mode Power Supply
PFC Power Factor Correction
POWER SUPPLY
Filtered AC
EMI filter
Electro Magnetic Interference filter
MAINS FUSE
FULL RANGE MAINS INPUT
L
N
MAINS LINK

無料修理規定(持ち込み修理)

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。

3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。

4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
(1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(2)お買い上げ後の輸送/移動/落下などによる故障および損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
(4)接続しているほかの機器に起因する故障および損傷
(5)業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
(6)メンテナンス
(7)本書の提示がない場合
(8)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
These warranty provisions in Japanese are valid only in Japan.

6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間/条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

ティアック株式会社　〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

0570-000-809

一般電話/公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～ 12:00 ／ 13:00～ 17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話: 042-356-9137 ／ FAX: 042-356-9185

故障/修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

0570-000-501

一般電話/公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～ 17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話: 04-2901-1033 ／ FAX: 04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in Japan

保証書

品　名 および 形　名	dBTechnologies DVA T8 / DVA T12	
機　番		
保証期間	本　体	
買い上げ日		日
お客様	お名前	
	ご住所	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記の期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	
	電話　（　　）

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

ティアック株式会社
〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
ティアック修理センター
〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：0570-000-501(ナビダイヤル) ／ 04-2901-1033

見本